

第2次真庭市総合計画：用語集

	用語	用語解説
数字・アルファベット	C A P D	施策及び事務事業について、有効性、効率性、影響力等総合的な観点から評価し（C=Check:評価）、見直し改善を図り（A=Act:改善）、成果指標等を用いて毎年度目標を定め（P=Plan:計画）事業を実施し（D=Do:実行）する手法により、行政運営全般の改善にもつなげる仕組み。
	D V	「Domestic Violence」の略で、「ドメスティック・バイオレンス」のこと。配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振られる暴力。
	E S D	「Education for Sustainable Development」の略で、「持続可能な開発のための教育」のこと。環境、貧困、人権、平和、開発等の問題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む学習や活動。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。
	GIGA スクール構想	GIGA とは「Global and Innovation Gateway for All」のこと。誰一人取り残すことなく、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 I C T 環境の実現を目指す構想。
	I C T	「Information and Communication Technology」の略で、「情報通信技術」のこと。通信技術（IT）を活用した人と人のコミュニケーションを図るための技術。
	I J Uターン	都市部の居住者が地方に移住する動き。Iターンは都市部から地方に移住すること。Jターンは地方から都会部に移住した人が出身地に近い地方に移住すること。Uターンは地方から都市部に移住した人が再び出身地に戻ることに。
	L G B T s	同性を愛する女性（レズビアン、Lesbian）、同性を愛する男性（ゲイ、Gay）、女性と男性のどちらも愛する人（バイセクシュアル、Bisexual）、性同一性障害などを含む心と体の性別に違和感のある人（トランスジェンダー、Transgender）たちのこと。
	N P O	「Non-Profit-Organization」の略で、「非営利団体」のこと。利益の追求を主目的とせず、様々な分野で公益的な活動を行う組織。
	P P P	「Public Private Partnership」の略で、公共サービスの提供において、何らかの形で民間が参画する手法。PFI、部分民営化、アウトソーシング及び行政財産の商業利用等の手法がある。
	S N S	「Social Networking Service」の略で、友人・知人等のネットワークをインターネット上で提供するコミュニティ型のサービス。
あ 行	アウトソーシング	外部委託、外部業務委託のことで、業務や機能の一部または全部を、それを得意とする外部の企業や NPO などに委託すること（経営資源を補完する方法の1つ）。

	インクルーシブ教育	「包容する教育制度」のこと。障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。
	海ごみ	海を漂流したり、海岸に漂着したり、海底に沈んでいるごみ。まちや山で捨てられたごみも、雨や風で流されて、川から海へと運ばれる。海の生物を傷つける等の悪影響を与えることが問題となっている。
	エシカル	「Ethical」とは、「倫理的な」という意味で、人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動。
	エッセンシャルワーク	人々が日常生活を送るために欠かせない仕事。緊急事態下においても簡単に止められない仕事。
か 行	可処分時間	自分の意志で自由に使える時間。1日単位で見ただけの場合、睡眠や食事、仕事、家事等、生活の維持に必要な時間を除いた時間。
	関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
	共生	社会の中で互いに助け合い、ともに生存すること。
	ケイパビリティ	「Capability」とは、一般的な意味では、「能力」、「才能」。経営学上の「組織・企業全体が組織的に持つ能力」または「組織・企業固有の組織的な強み」をいう。
	コミュニティビジネス（C B）／ソーシャルビジネス（S B）	多種多様な地域社会の課題解決に向けて、住民、N P O、企業等の様々な主体が協力しながらビジネス手法を活用して行う取り組み。
さ 行	再生可能エネルギー	太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス等で、エネルギー源として持続的に利用可能。石油や石炭等の化石エネルギーは含まれず、温室効果ガスを排出しない。
	産学官金労言	産は民間企業、学は高校や大学、官は行政、金は地方銀行、労は労働組合、言は地方のメディアを指す。
	ジェンダー	社会的・文化的に形成された性別（Gender）。人間には生まれつきの生物学的性別があるが、一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別のこと。
	資源循環型社会	有限である資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させながら利用していく社会。
	「しごと」	社会の中で行う社会の一員としての活動で、主に経済活動のこと。 ※雇用や起業（稼ぎ）だけでなく、社会参加（つとめ）も含む。
	持続可能性	市民の生活や活動が長年にわたって持続できる可能性。
	循環型（性）	ものや人、情報など真庭市の地域資源が、付加価値を付けながら各地（市内市外）を回ること。
	情報インフラ	情報通信（コンピュータやインターネットなどの通信技術）の基盤となる考え方、またはその技術のこと

た 行	地域通貨	特定の地域における消費の促進と相互扶助を主な目的として、当該地域内に限って流通し、人々の決済手段などとして利用される通貨。
	地域包括ケアシステム	保健・医療及び介護を含む福祉サービスを、地域住民・関係者が連携・協力して一体的に提供する仕組み。
	長寿命化	高度成長期以降に集中的に整備された社会資本が 今後老朽化するが、戦略的な維持管理を行い、その寿命（使用可能な期間）を延ばすこと。
	「つとめ」	「まち」の役に立つために、そして自分の人生をより豊かにするためにする「しごと」。
	ディーセント・ワーク	権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事を意味し、「働きがいのある人間らしい仕事（Decent Work）」のこと。
	テレワーク	ICT（情報通信技術）を利用し、勤務場所から離れて、自宅などで仕事をする等、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。
	電子自治体	ICT（情報通信技術）を行政のあらゆる分野に活用し、行政事務の簡素化・合理化等を図る効率的・効果的な自治体。
な 行	農福連携	農業分野と福祉分野が連携して、障がい者や生活困窮者、高齢者等の農業分野への就農・就労を促進する取り組み。
は 行	バリアフリー	高齢者・障害者等が社会生活をしていく上で、物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁など全ての障壁（バリア）を除去（フリー）するという考え方。
	パンデミック	感染症の世界的大流行。
	ファシリティマネジメント	施設（群）の施設計画の策定等により、既存の施設を有効活用しつつ、総合的に企画・管理し、整備・活用する手法。
ま 行	回る経済	循環性の中でも「経済」に関することで、特に「しごと」や地域資源などが、市内外のつながりを生かし、連携しながら付加価値をつけること。
	メディカルコントロール	救急患者を現場から医療機関へ搬送する間に医師以外の者（救命救急士を含む救急隊員）が、医師による必要な処置の指示 あるいは指導のもと、質の高い医療を行うこと。
や 行	ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
ら 行	ライフステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期等。
わ 行	ワーク・ライフ・バランス	一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。